

資料 6 - 2

第 5 回総合計画審議会委員意見への対応等一覧

章	基本 目標	項目	会議名	意見等	ページ	対応
1	(コ ロ ナ 関 連)		審議会	コロナ禍から得ることができた教訓の視点が必要。これまでベッドタウンとして、通勤、通学を前提に都市をつくってきたが、仕事のオンライン化や在宅ワークが進展した一方、様々な機能を集約し、密を作る都市の在り方の問題点などが浮かび上がってきた。市内で自己完結するまちの在り方を、セーフティネットや医療・衛生面、感染症予防などを含め、コロナ対応の基本姿勢を記載しておくべきではないか。		<p>【基本構想】 「また、時代や環境の大きな変化にも柔軟に対応し、」を追記。</p> <p>【基本計画】 次の視点を踏まえた記載を検討。 ・大きく影響を受けた市民生活に寄り添う ・テレワークなど新しい日常に対応 ・職住近接に適した環境整備 ・災害時の地域の担い手として地域住民による共助 ・都心へのアクセスの良さと、豊かな自然を兼備している環境を活用</p>
2			審議会	コロナへの危機感を強く持った、府中市のダイナミズムを示す計画にしていくべきではないか。		
3			審議会	総合計画は、今起きている大きな変革にフレキシブルに対応できるような体制であると思う。		
4			審議会	理念的なことは基本構想に記載されているが、今後の大きな問題にどう対応していくのか、「しなやかに」、「柔軟に」対応していくのだということが書かれていると思う。		
5			審議会	ウィズコロナ、アフターコロナの時代におけるまちづくりの視点は、文章としてしっかりと表現する必要があると感じた。		

	章	基本 目標	項目	会議名	意見等	ページ	対応
6	(コロナ関連)			審議会	コロナをどう受け止めるのか、ということは市として求められている。にぎわいを創出する、ということ一つにとっても、観光客を確保するのか、あるいは自然と豊かな環境を打ち出していくなど、方向性を示した方がよい。		1ページの対応のとおり。
7		2	(5) 災害に強いまちづくりの推進	審議会	コロナによって働き方が変わって、市内で日中仕事をする方が増える中で、災害時のマンパワーが増えてくるのではないかと。共助の点では担い手になり得るなどの変化があるのではないかと。	p.8	
8		1	(1) 健康づくりの推進	審議会	「現状と課題」には感染予防について記述があるが、「めざすまちの姿」にはそういった記述がない。コロナなどの感染予防では、東京都などとの連携も加えるべき。連携も見据えて、感染の予防対策、医療資源についての記述があるとよい。	p.4	「関係機関が連携し、」を追記。
9	2・3	-	(前文)	審議会	1文が長く、5行分もあることに違和感があるので、文章整理をして欲しい。 「市民や自治会、町内会」が「市民、自治会、町内会」でない理由を教えて欲しい。	p.3 p.16	「市民や自治会・町内会、NPO～多様な地域の構成主体」を「地域を構成する多様な主体」に変更。 「市民や自治会、町内会」を「市民、自治会、町内会」に変更。
10	2	-	(前文)	審議会	協働に関して市民に期待していることが述べられているが、市としてどう応じていくのか、市は何をするのか、という姿勢を1文入れることができるとよい。16ページの「市は市民の～公共の担い手」の趣旨を入れればよいのではないかと。	p.3	「そして、市は、協働の機会や場の提供に係る～」を追記。

	章	基本目標	項目	会議名	意見等	ページ	対応
11	2	1	(2) 子ども・子育て支援の充実	審議会	子育て支援には、「社会的資源を使いながら、市民力、地域力、おせっかい力等々が必要である」といった言葉を入れて欲しい。 第2次子ども・子育て支援計画の基本理念「次世代を担う子ども一人ひとりを生まれる前から大切にするとともに、子どもの意見を尊重し、その最善の利益を優先します」の子どもの「最善の利益」という言葉を入れて欲しい。	p.4	「家族や地域で」を「家族や地域ぐるみで」に変更。 「最善の利益が優先されることで、」を追記。
12			(4) 障害者サービスの充実	審議会	差別をなくすため、「差別のない平等なまち」という言葉を入れて欲しい。	p.5	「差別のない平等な」を追記。
13			府中市の現状・課題 (6) 生活の安定の確保	審議会	就労支援だけでなく、「生活再建」が大きな課題なので追記して欲しい。 最後のセーフティネットとしての行政のありかたとして、「誰も置き去りにしない」と追記して欲しい。	p.4 p.5	「生活再建」を追記。 「誰も置き去りにしない」を追記。
14			(7) 共に生きるまちづくりの推進	審議会	「バリアフリー」と「ユニバーサルデザイン」を追記して欲しい。	p.5	基本計画の該当施策に記載することを検討。
15		2	府中市の現状・課題	審議会	ハケ下部分は多摩川による洪水の被害を受けやすいということがあるので、府中市のまちづくりの中でも、多摩川の洪水との関係で何か記載できるとよい。	p.6	「多摩川氾濫の恐れから市政史上初となる避難勧告」等を追記。
16			(1) 緑と生きものを育むまちづくりの推進	審議会	「防災機能の強化や健康づくりにつながる実用的な公園」の「実用的な」という言葉に違和感がある。	p.7	「実用的な」を「機能を有した」に変更。
17			(2) 生活環境の保全・向上	審議会	「市民一人ひとりが環境に対する意識を高め、正しい知識を持ち」の「正しい」という表現について検討して欲しい。	p.7	「正しい」を「正確な」に変更。

	章	基本 目標	項目	会議名	意見等	ページ	対応
18	2	3	(1) 互いを尊重し、つながり合うまちづくりの推進	審議会	コロナ禍において差別があらわになった部分もある。「めざすまちの姿」の中に性的差別だけでなく、いろいろな差別のないまちになった姿を記載できるとよい。	p.10	「差別のない」を追記。
19			(5) 学校教育の充実	審議会	学校施設について、学校施設建て替えに莫大な費用がかかる見込みであるため、地域に開かれた学校づくりや、防災の拠点を学校に求めていくことも含めて記載すべきではないか。	p.11	「地域に開かれた拠点として様々な機能を備えた学校づくりが進められています。」を追記。
20			(5) 学校教育の充実	審議会	「国籍や家庭環境に関わらず」の部分に、「障害の有無」を入れて欲しい。 ICT教育により身に付けるものとしては、「技能」という表現は適切ではない。	p.11	「障害の有無」を追記。 「技能」を「情報リテラシー」に変更。
21	3	-	2(1) 市民参加と協働によるまちづくり	審議会	3ページの記述と同様に「相乗的」と入れて欲しい。	p.16	「相乗効果」等を追記。
22		-	2(3) 安定的かつ効率的な行政運営	審議会	手続きのオンライン化、電子化についての記述もあるとよい。	p.16	「行政サービスのデジタル化、オンライン化を進めるとともに」等を追記。
23		-	2(4) 健全で持続可能な財政運営	起草委員会	「公共施設や～インフラマネジメントを着実に進めます。建て替える新たな市庁舎～」という文言がある。ここには、学校の建て替えも記載した方がよいのではないかと。公共施設・インフラマネジメントだけではなく、市債のバランスなど健全な財政運営につなげていくということも書くとよいのではないかと。	p.17	「新たな市庁舎」を「公共施設」に変更。 「限られた財源の中で最適な行政サービスを提供できる」等を追記。